

有害鳥獣から農作物を守る（西予市） ～高齢世代も活用できる新たな捕獲体制の構築～



【概要】

野村町は、西予市の山間部に位置し、酪農や養蚕などの第一次産業が盛んな「シルクとミルクのまち」として知られています。

しかし、人口減少や西日本豪雨災害による農業離れの影響で、耕作放棄地が増え、西予市全体で年間約4,000万円の有害鳥獣による農作物被害が発生しています。

被害が増える一方で、ハンターの高齢化や担い手不足が深刻な課題となっているため、従来の有害鳥獣の捕獲体制からICT技術を導入した新たな体制への転換を目指しています。

【ミッション】

- ・ICT技術を導入した鳥獣被害対策に関する提案
 - ・高齢ハンターも簡単に取り入れられる狩猟の負担軽減に向けた提案
- ※財源確保が難しいため実装に向けた検証フィールドとしての提供を想定しています。

【地域の特徴】

- ・地域全体に広がるおもてなし文化「"サシアイ"をした人はもうみんな仲間！困ったことがあったら助けるけんな！」

※サシアイ：野村町の飲み会時に行われる独自の文化



西予市野村町



サシアイ



有害鳥獣捕獲